

令和4年度 学び舎ひまわり第4講 開催報告

日時 令和4年 11月12日(土) 13時~16時
会場 区役所6階 601・602号 会議室
受講生 20名(地域11名 企業2名 区役所7名)

プログラム内容

自分の地域で実現させたい計画「マイプラン」。興味のあること、今地域で起こっている様々なことを考慮して作成したマイプランを、受講生同士のグループ内で発表、様々な意見を踏まえてブラッシュアップし、思いのこもったものとなりました。

日頃の活動についても情報交換が進み、大変有意義な時間となりました。

Aグループ

連合名、所属名	氏名	タイトル(11月12日現在)
上大岡	山田 和男	「日野南小地域防災拠点運営委員」の取り組みに学ぶ
野庭住宅	田中 太郎	心の扉を開いて
日野南	柳 あけみ	世代をこえてみんなで助け合おう
区役所 こども家庭支援課	山岡 佐江子	楽しく多世代交流！in 野庭団地
区役所 総務課	桂 正紹	地域の大広間をつくる



内海先生のコメント

子供から高齢者、あるいは外国人など、多様な方々が横に繋がりながら意思疎通をして災害時につなげようということがテーマとして全体に流れていました。多世代、特に子供たちを巻き込むという場合でも、企画から全て大人が行ってしまうのではなく、企画段階から子供たちを交えた形を取ると、やる気がより高まります。

また、拠点を持つことで地域の情報流通がスムーズに流れます。地域の居場所があること自体が、災害時に非常に有効です。

Bグループ

連合名、所属名	氏名	タイトル（11月12日現在）
日野第一	大野 千賀子	我が地域（町内会）を良く知ろう！
下永谷	浅野 利幸	何とかしたい！震災時の初期対応スピード
港南区工業会	稲村 直之	めざせ頼れる地域密着企業
区役所 生活支援課	三小田 晃児	独自通貨で世代間交差
区役所 保険年金課	飯田 啓晶	あいさつで溢れるまち



内海先生のコメント

高齢化が進んだ現在、防災の中でもとりわけ災害時要援護者が大きなテーマになっており、その中でも安否確認が重要であるという認識が広がってきています。

また、「独自通貨で地域活性化」は面白いアイデアで夢があります。報酬制のイベント展開をするなど、新しい考え方を取り入れるのも良いかもしれません。

Cグループ

連合名、所属名	氏名	タイトル（11月12日現在）
港南台	和田 政春	愛される自治会へ
永谷	大嶋 武夫	家族全員で楽しみ近隣家族との交流を図り 活気ある地域作り
横浜商工会議所 南部支部	笠原 節夫	みんなでお店やりませんか？
区役所 地域振興課	福司 英帆	みんなのマイ・ホームタウン日下
区役所 税務課	粟竹 史明	グリーンスローモビリティを活用した移動手段の確保



内海先生のコメント

地域への愛着を深めてもらうという視点での取組は大切です。

山坂など起伏のある地形での移動手段は、横浜全体でも大きな課題になっています。また、役員だけでイベントをすることが難しくなっている中、手上げ方式で新しく人を集めて関心や興味を持つ人に地域活動を担ってもらうという事は、非常に大切です。

Dグループ

連合名、所属名	氏名	タイトル（11月12日現在）
笹下	小船 博之	地域内の情報弱者をなくす
永野	奥嶋 敬司	ICTを活用した自治会業務の効率化
野庭団地	中川 正彦	高齢化が進む中で自治会の取組と活動を見直そう
芹が谷	狩俣 努	若い世代の取り込み大作戦
区役所 税務課	櫻井 正成	地域でつながり、愛着を持とう！



内海先生のコメント

担い手の問題は、学び舎ひまわり開校当時の大きなテーマです。働き盛りの若い人が地域の担い手になりにくい状況がずっと続いています。しかし、コロナ禍でICT化が進むなど環境が変わってきていることもあり、そこに対応しようという内容だと思いました。具体的に考えてみる価値はあります。

また、取組みに対して補助金が出る場合もあるので、検討してみたらよいと思います。

学びのまとめ 集計結果

回答数 19件 / 回収率 95%

満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
15	4	0	0	0
79%	21%	0%	0%	0%

受講生の声（抜粋）

- ◎グループ活動の中で、近隣の地区での様々な活動を知ることができた。
- ◎グループ内で色々な意見を聞いたことで、自分の中で漠然とした考えが少しまとまってきたように感じた。これからもっと煮詰めていきたい。
- ◎ICTについて、進んでいる地域の事例を共有してすすめてもらえれば有難い。
- ◎自分のプランに対し、良いアドバイスをもらった。
- ◎様々なプランが提案されたが、「住民同士のつながり」を育むことを目的にしていることが共通していると感じた。
- ◎各自のプラン発表で、皆さんが一生懸命地域の発展に尽力する力が印象的でした。
- ◎話をする中で、皆の想いは一緒であることを再確認した。